

市議会だより

第 38 号

平成 25 年 (2013) 8 月 15 日発行

発行・飯山市議会

編集：市議会だより
編集委員会

〒 389-2292
長野県飯山市大字飯山 1110-1
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-0005

インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iijama.nagano.jp/gikai/>
E-mail: gikai@city.iijama.nagano.jp

6月定例会概要

平成25年6月定例会は、6月3日から21日までの19日間の会期で行われました。

今定例会では、平成25年度一般会計補正予算（総額1億9701万3000円の減額）の予算案1件、条例改正案5件、専決処分事項の承認などの事件案14件の合計20議案が市長から提出されました。

6月10日から12日にかけては一般質問に13名の議員が登壇し、13日、14日には予算決算常任委員会、17日には総務文教・産業民生常任委員会、それぞれ付託された議案について審査しました。

最終日21日には、提出された議案について、すべて原案のとおり可決・承認されました。また、「人権擁護委員候補者の推薦につき意見

を求めること」については適任と認めました。
請願1件については採択とし、意見書1件については全員一致で可決しました。

委員会審査

6月13日、14日、17日には、各常任委員会において審査が行われました。

予算決算常任委員会

予算決算常任委員会に付託された議案は、「平成25年度飯山市一般会計補正予算」1件、「専決処分事項の承認を求めることについて」の事件案12件の計13議案でした。

審査結果は、すべて全員一致で原案のとおり可決または承認すべ

きものと決しました。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会に付託された議案は、「一般職の職員の給与に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例」、「いいやま女性センター未来条例の一部を改正する条例」の条例案2件、「字の区域の変更について」、「専決処分事項の承認を求めることについて」の事件案2件の計4議案でした。

審査結果は、すべて全員一致で原案のとおり可決または承認すべきものと決しました。

産業民生常任委員会

産業民生常任委員会に付託された議案は、「飯山市新型インフルエンザ等対策本部条例」、「飯山市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例」、「飯山市飯山駅西口駐車場設置条例」の条例案3件でした。

審査結果は、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般質問

6月10日、11日、12日には、13名の議員から市政に対する一般質問が行われました。

※次ページからの一般質問の内容については要約して掲載させていただきます。

飯山線に菜の花列車を 走らせよう



九州を走る「なのはな列車」



水野英夫議員

【答弁】飯山駅は散水施設があり費用もJRが負担している。戸狩野沢温泉駅は野沢温泉村が半分、残りの半分はタクシー会社や観光協会が負担しているが、市は負担していない。

【質問】戸狩野沢温泉駅では利用者のほとんどは市が除雪していると思っているのではないか。また、利用の半分以上は通勤通学の市民だと思うので、公平になるよう早期の見直しをお願いしたい。

【答弁】検討したい。

◇教育問題について

【質問】飯山らしい教育の推進にあたり地元出身の教師の必要性はどうか。

【答弁】通常の教育を含め、プラス効果が期待できる。現在約54%の地元教師がいるがもう少し多いほうが良いと思う。

【質問】将来地元で教員を目指す子供たちへ、医学部への進学者への奨学金と同じように奨学金制度を設けてはどうか。

【答弁】いろいろな意味で検討していくことも大事に思う。

飯山の魅力発信の 対応策について



山崎一郎議員

から大変よい提案だと思う。入場料と体験料との違いがあるが実現に向け検討したい。

【質問】回遊性にとって重要なことは駐車場の位置の問題だ。人形館の現状では、善光寺に行つて裏に駐車しそのまま裏から帰るのと同じで回遊性になりにくい。

【答弁】回遊性を高めるための大変重要な課題と考えている。今後市街地における貸切バス等の駐車や乗降について検討したい。

【質問】新幹線飯山駅開業の前年の来年、飯山城築城450年となる。上杉謙信に縁のある地域に呼びかけてプレイベントの開催を提案するがいかがか。

【答弁】新幹線の開業を盛り上げる良い提案なので、実行委員会で見現に向けて検討していきたい。

【質問】今年10回となった「菜の花ゲートボール大会」を、ツーリズム事業の見本として表彰すべきと提案するが。

【答弁】経済波及効果も大きく、飯山の魅力発信につながっているので検討したい。



高橋まゆみ人形館で
来館者50万人を達成!!

オオルリシジミについて



水野晴光議員

【質問】 環境省レッドリストで絶滅危惧種に指定されているこのチョウは野生種での生息は本州で当市のみとのこと。今後の保護、活用等は。【答弁】 自然豊かな所にのみ生息する貴重なチョウなので保護活動を行う。戸狩温泉スキー場は環境も良く食草のクララが多いので放チョウし増殖が確認された。皆さんにも保護活動に参加を願い、観光にも結び付けていきたい。



オオルリシジミ

◇農業後継支援について

【質問】 市独自の後継者支援が決

まったが受給には県の研修を2年間受講するか、特定者の下で2年以上の農業研修経験が必要とのことで、期間が長く、ハードルが高過ぎないか。

【答弁】 農業高校や関係大卒者はこの必要がない。北信農業道場等で冬期間のみの研修でも良い。100万円以上の経営計画、150日以上就農、地区の人・農地プランへ3年以内に位置付けが必要となる。

◇中央橋について

【質問】 建設が急ピッチで進められ開通は平成26年の降雪前とのこと。開通式を行うと思うが当市の考えは。

【答弁】 近隣市町村と連携し、当市としても新幹線開業前イベントの一つとして盛大に行いたい。

◇古牧橋について

【質問】 完成が昭和38年で、50年経過した。老朽化と幅員確保のため、架け替えが必要と思う。

【答弁】 中野等近隣市町村との重要路線なので早期に同盟会を作り、国・県へ要望していきたい。

ピロリ菌の除菌と検診で

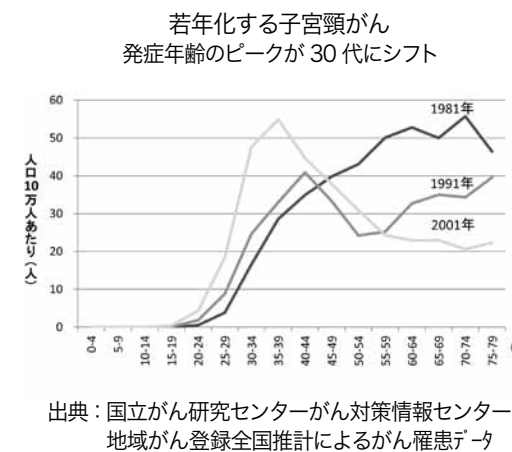
胃がん予防を



小林初子議員

常に高まるので、正しいがん知識の啓発とともに併用検診の継続を。

【答弁】 基本的には継続。



◇健康づくり事業について

【質問】 糖尿病予備軍の現状と課題は。

【答弁】 国保加入者で特定健診受診者1284人のうち544人が糖尿病予備軍(22年度)。自覚症状がないため動機づけが難しいことが課題。今年12月までに健康増進計画を策定したい。生活習慣病予防に力を入れ、食育も計画に入れる。

ブランド観光圏

「信越自然郷」に期待



高山恒夫議員

村へ直接バスが出る仕組み等を考えている。施設整備や運行ソフトウェアを含め今年度でつくりたい。

◇国際交流の推進について

【質問】 中国深圳市福田区へ月岡副市長が訪問されたがどうだったか。

【答弁】 中学生の交流事業に合わせ表敬訪問を行なった。2時間半にわたる意見交換などで友好交流を進めてきた。整然としたまちづくりと経済活動の活発な都市で、今後の観光・経済活動に大きな可能性と期待を感じた。

【質問】 今後、市民レベルの交流促進のためにも、職員の語学研修派遣を進めたらどうか。

【答弁】 職員の相互人材交流・研修など課題として考えていきたい。

◇職員提案制度について

【質問】 本年度の固定資産税納付通知書の中に、空き家バンク登録の広報が同封されていた。異なる部署の連携を評価したい。

【答弁】 積極的に自らの業務改善に取り組む姿勢、係内で話し合いを進める姿勢が大事である。意識改革も含め提案制度を充実したい。

TPP交渉と

市民生活への影響について



竹井政志議員

【質問】 政府の試算でも農業生産額が3兆円以上減額すると言われている。飯山市の基幹産業である農業と市民生活への影響をどのように受け止めているか。

【答弁】 小規模な農家への打撃が非常に大きいのではないかと。飯山市民を含めて消費レベルでも大きな影響があると思う。

◇市税納税と対応について

【質問】 日本共産党市議団に生活相談に来られる方が増えている。その中に市税を納めたくても納め



◇生活保護法改正について

【質問】 1950年施行の生活保護法が60年以上にわたって国民の最低生活を守り支える役割を果たしてきた。今回の改正で最後のセーフティネットである生活保護法のあり方が問われている。今回の改正点は何か。また、憲法25条に基づいた生活保護の理念が変わっていないと受け止めているのか。

【答弁】 平成26年4月施行の法案、正確なところは不明。主な改正は就労自立給付金の創設、不正受給の罰則強化、調査権の強化、医療扶助の適正化。憲法は一番基本。仕事をする上でも大事にしなければならない。

これからの飯山市と 過疎対策について



石田克男議員

【質問】飯山市第5次総合計画の項目の中に「地域産業おこしと若者定住」とある。どのように具現化するのか。また長野県の市町村には「地域おこし協力隊」や「集落支援員」の制度を使い過疎対策に取り組んでいる所が多い。飯山市で取り組む考えは。

【答弁】若者定住については、これから市も真剣に考えていかなければならない。若者に明確な目標を持つてもらい、市としても支援を考えていく。「地域おこし協力隊」や「集落支援員」についてはどういう支援が望まれるのか、近隣市町村での状況をお聞きしながら、導入に向けて検討する。

◇（仮称）飯山ぷらざと活用方法について

【質問】（仮称）飯山ぷらざの設計が進んでいる。高額な建設資金をかけ、その上毎年維持管理経費がかかる。年間の必要経費がいくらで、運営形態をどのように考えているのか。

【答弁】まだ決まっていない。年度末までに決めたい。

◇タクシーの観光案内について

【質問】京都などの観光地では観光タクシーを借り切つて名所、旧跡等の観光案内をしている所がある。新幹線開業に合わせ取り組みができないか。

【答弁】2次交通の手段としてタクシー利用の促進を図っていきたい。

◇ドッグラン施設について

【質問】長峰運動公園周辺では犬の鎖をはずし、遊ばせている。作物が荒らされて困る。ドッグランを作ってもらえないか。

【答弁】現在は考えられない。



中野市のドッグラン施設

堆肥センターについて



渡辺美智子議員

【質問】稼働状況および検査結果は。

【答弁】3月に原料（グリストラップ汚泥、公共下水道汚泥）を搬入して、4月から試験稼働している。60日くらい経過しているが製品になっていない。毎日県の職員と立ち合い検査をしている。

【質問】製品の品質管理はどうなるか。

【答弁】50日以上寝かせて水分量炭素と窒素の割合等クリアすれば製品になる。

◇国保税引き上げについて

【質問】国保税の19・7%もの増税は納得いくものではないという市民の声が上がっている。払いたくても払えない人が増えることが予想されるがどう考えるか。

【答弁】国の制度を利用してしっかりと経営していく。

【質問】これからも基金が底をついたら増税するのか。

【答弁】一定程度の基金は持っている。基本的にはもつと国からの支援がほしい。それがないとやっていけない。情勢・制度の変化に合わせて、



走る農家レストランのトラック市

新中央橋と

千曲川治水について



西條豊致議員

【質問】建設中の中央橋の東西に多少の敷地の余裕ができる。県および市にその利用についての構想は。また、現在の道路の活用は。

【答弁】西側は余地は少ない。東側は多く残るので地元と協力し木や花を植え、現中央橋の記念の公園として有効活用する。現在の道路はそのまま利用する。

【質問】信濃川水系河川整備計画について。

【答弁】河川整備は9000tが目標だが、30年間の整備計画は当面7300tで進め、戸狩の掘削で上下流のバランスを考慮し安全に流下を図る。

【質問】県管理区間の直轄編入を。

【答弁】各種同盟会を通し事あるごとと陳情をしており、今回の整備計画との整合性を図り県の策定計画に盛り込む。

【質問】湯滝橋上流試掘石と東小沼地籍での雑木の伐採の進捗状況は。

【答弁】石の除去は発注済み。伐採は仮設道路は完成したが現在野鳥の会と協議中。今年中に実施。

【質問】湯滝掘削工区で矢板工の



湯滝橋付近の狭窄部

みとなっており流下が心配だが。

【答弁】県管理区間での築堤完成後、当ヶ所の掘削を実施する。

◇飯山堆肥センターについて

【質問】飯山堆肥センターに対し今年も区長総会で監視の徹底と指導について決議された。市の対応は。

【答弁】決議をしつかり受け止め、県・地元と連携を図り市民にも監視員になつてもらい強力に進める。

【質問】市が許可権者である一般廃棄物についての対応は。

【答弁】申請書を今審査中で、資料等の補正をしており検討中。

生物多様性保全戦略の

策定を



上松永林議員

【質問】国の基本戦略の一つであり、長野県でも策定済みである。市の第5次総合基本構想とも合致するので、生物多様性保存計画策定事業の継続と保全戦略の策定を。

【答弁】四季が鮮やかで多様な生物が生息している飯山。自然の豊かさをPRし経済活動に結び付けたい。多様性の保存と活用を進めたい。

◇市の発展には市民の国際交流・海外派遣事業が必要では

【質問】世界の中の飯山市を推進するため、補助金を予算化するなどして、国際交流・派遣事業に力を入れるべきでは。

【答弁】海外には容易に行けるようになり、交流は個人レベルでも可能に。市としては深圳市との交流を活発に進めたい。

【質問】国の事業を積極的に活用してはどうか。信越自然郷として、国際リゾートを目指すには、国際

感覚を備えた地域リーダーが必要。

【答弁】情報は個人でも得れる。国際化に自ら学ぶ姿勢が求められる。

【質問】住民の海外視察を実施してから官民で「想いと方向」を共

平成 25 年度内閣府青年国際交流事業（抜粋）

事業名	国際青年育成事業	日本・韓国青年親善交流	東南アジア青年の船	青年社会活動コアリーダー育成プログラム
訪問国	カンボジア ドミニカ共和国 リトアニア	韓国	東南アジア 5か国	デンマーク ニュージーランド 英国
事業期間	18日間	15日間	42日間	10日間
募集人員	各国16人	25人	39人	各国8人
参加費	18万円程度	7万円程度	29万円程度	11万円程度

◇地域資源開発やブランド化戦略についての考え方は

【質問】地域の自立と独自性が求められており、ブランド商品と市のブランド化が必要。戦略は。

【答弁】ブランド化は大切。商品開発には各種多く取り組んでいる。地域は「信越自然郷」観光圏としてブランド化を形成したい。

信濃川水系河川整備計画について



渋川芳三議員

【質問】 県知事からの照会がある前に、市民の意見を聞く等をしておくべきと考えるがどうか。

【答弁】 千曲川に関する同盟会や関係する集落懇談会での意見や要望が反映されるよう取りまとめ、国・県に要望する。

【質問】 知事に提出する意見は、北信広域内の関係する市村と連携を取り提出してはどうか。

【答弁】 連携を図りながら進めていきたい。

【質問】 県管理区間の直轄河川編



古牧橋下流の千曲川

入を更に強く国に要望してほしい。

【答弁】 市として要望を行うほか、同盟会を通じて更に強く要望する。

◇飯山らしい教育計画について

【質問】 教育計画の前半5年間の評価はどうか。

【答弁】 城北・城南中学校の統合開校、コミュニティスクールのスタートおよび信州大学との連携等幾つかの施策が具体化している。

【質問】 後半の5年間の計画はいつ頃までに作成するのか。

【答弁】 今年度中に作成のうえ、市報等によりお知らせしたい。

【質問】 懇談会では教育委員会にとって耳の痛い発言もしつかりと聞いてほしい。

【答弁】 耳の痛い話ほどよく聞きたい。嫌なこともお聞きして改善していきたい。

【質問】 外側線の引き直しだけで通学路の安全対策が完了したと考

【答弁】 今後の交通安全対策や整備の方法については引き続き地元と話し合いながら進めたい。

観光行政について



望月弘幸議員

◇菜の花まつりについて

【質問】 まつり直前に整備した犬坊山駐車場の今後の整備計画と活用計画は。また、駐車場は犬坊山へ二本化し、バスやタクシーの発着場としたらどうか。

【答弁】 今後、質的な向上や西側土地の整備を行いたい。また、さまざまなイベントにも大いに活用したい。駐車場の二本化については、まつり期間中は非常に混み合うので効果的だと思うが、まつりの前後は近いところに停めたいというのが心情では。日によって場所が変



整備の終わった犬坊山駐車場（道路右側）と来客を待つシャトルバス（道路左側）

わると不案内が生じるおそれがある。検討したい。

【質問】 シャトルバスが混雑した。来年の運行計画は。

【答弁】 台数を増やす等検討したい。

【質問】 市役所の窓口は農林課だが、商工観光課・観光局が好ましいのではないか。

【答弁】 農林課単独では荷が重くなってきた。検討したい。

◇教育行政について

【質問】 地元の先生が少なくなり将来的にはふるさと教育、地域を知るという点で今後の見通しを聞きたい。

【答弁】 先生方にはより一層、皆さんと深くかわつていただくことが大切であり、地域の行事、日常の買い物などを通して触れ合いを大事にしてほしい。

【質問】 教員住宅の利用状況は。

【答弁】 全部で56世帯分所有し19世帯が空き家になっている。民間アパートに同居される先生も30名ほどいる。教員住宅を第一に勧めたい。

新駅前広場の植栽ならびに

市有地の活用策を早急に



佐藤正夫議員

【質問】 26年度末の新幹線開業まで2年を切った。今年、駅前広場にブナを植栽する計画だったが進捗状況と、以前試験的に移植したブナはどのような状況か聞く。また、道を挟んだ3000㎡の市有地はいまだに動きがないが、開業までには食堂と土産販売はどうしても必要と思う。市民から出資を募って皆で進める三セク方法もあると思うが。

【答弁】 駅前には信越自然郷の象徴であるブナが欲しい。ブナの移植は大変難しいが、試験移植のブ



新幹線飯山駅前の市有地

ナは根付いたと見える。広場へのブナの移植は予定より遅れ平成26年の秋以降になる。市有地については商業地指定であり、市が建設して貸し出す方法もあるが、できれば民活でいきたい。問い合わせも幾つかはあるので開発手法等協議していきたい。開業までに整備をとの意見であるが、駅の性格というのか、ポジションが固まるまでには時間がかかる。用地が限られているので、早速に進めて後悔するより、開業後であっても時間をかけて整備策を考えていけばと考える。

【質問】 人・農地プランの進捗状況を聞きたい。計画作りは行政の責任だが、担い手の指定等は地域ごとの取り組みが必要だ。地域の担い手と目される皆さんを取り込むでの活動が大切だ。またJAとの協調が足りないように見えるが。

【答弁】 国が求めている人・農地プランは6地区で作成して提出した。その中には担い手の指定も入っている。今後の進め方についてはJAと良く相談して停滞しないよう進めていきたい。

諮問

◇諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

宮本 晴男 氏

《適任と認める》

請願審査

◇請願第3号

千曲川の湯滝橋付近の浚渫に対する請願

《採 択》

請願者
木島振興委員会
小出 善久

意見書

◇意見書第2号

千曲川の湯滝橋付近の浚渫等に対する意見書

《下記のとおり原案可決》

しかしながら、近年、頻繁に発生している異常気象は、今後、千曲川にも想定外の洪水を引き起こす可能性があることから、県管理区間の築堤の早期完成とその後の湯滝橋上下流の本格的な浚渫の実施を要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

※可決となった意見書については、関係機関へ送付しました。

叙勲伝達

飯山市議会第26代議長である上村力氏が、このたび叙勲を受け、平成25年4月29日に旭日双光章を受章されました。

上村氏は、飯山市議会議員に昭和57年12月から平成14年12月まで、5期20年の長きにわたり在職されました。また、平成4年12月から平成6年12月までの2年間は副議長として、平成8年12月から平成10年12月までの2年間は議長としてもご活躍されました。

5月8日には長野県庁での知事からの伝達式に、また、5月14日には皇居での天皇陛下への拝謁式に出席されました。



皇居にて天皇陛下への拝謁

管外視察報告

先ごろ行なった各常任委員会の管外視察について報告します。

総務文教 常任委員会

委員長 西條 豊致

平成25年5月13日～15日
広島県呉市・山口県岩国市

総務文教常任委員会では、平和学習も兼ね、広島県呉市および山口県岩国市の行政視察を行った。各市とも議長、議会事務局長および担当課の各位により懇切丁寧な説明を受け、実のある意見交換を行うことができた。

まず初日は呉市役所にて、ゆめづくり地域協働プログラムについて、計画の策定実施における行政の支援や運営方法、地域交付金の活用方法と今後の課題等について意見交換をした。

呉市のゆめづくり地域協働プログラムでは、コミュニティの

自立経営（地域力の向上）および小さな市役所の実現（協働型自治体への移行）を目指してさまざまな施策に取り組んでおり、その取り組みの一つとして、地区のまちづくり委員会等に対し、使途を限定しない地域予算としてゆめづくり地域交付金を交付している。ある地区ではスーパと住民が災害協定を結び災害ではお年寄りがふれ合える無料休憩所を作ったりと、自立した特色のあるまちづくりを行っている。昔から海軍があり住民自治組織が強かったことでスムーズに進められたとのこともお話もあった。

続いて先の議会でも話題になった呉市海事歴史科学館「大和ミュージアム」を視察した。平成17年に開館した大和ミュージアムには、戦艦大和の10分の1の模型が展示されていたりして、来館者は800万人を達成したという人気である。戦艦大和を生んだ呉市の歴史や、平和の大切さ・科学技術のすばらしさを伝えるものであり、決して戦争を美化しているというものではない。今回、広島平和記念館も視察したが、そちらと併せて、中学生の平和学習で見学し

ンした。標高230mにある喜入一倉地区の敷地面積約41畝に総事業費約36億円をかけ、農産物直売所や農園レストラン、約2畝ある体験用農地、交流体験館や滞在型市民農園等があり、さまざまな体験プログラム等を実施している。

また、在来線の中には「なのはな号」という黄色の電車もあり、手を振る「おもてなし」とともに飯山線でも是非実現したい。

組みをご紹介いただき、当市においても集落機能の維持という観点から、とても参考になる事例であった。

産業民生 常任委員会

委員長 水野 英夫

平成25年5月8日～10日
九州旅客鉄道㈱・鹿児島市

◎九州旅客鉄道㈱鹿児島支社 「観光列車の運行について」

九州旅客鉄道株式会社では農業への新規参入や海外への高速船の運行等、さまざまな事業に力を入れているなか、管内各地のローカル線で観光列車を多数運行している。

各観光列車の特徴は多種多様で、沿線住民が手を振る「おもてなし」や沿線の浦島太郎伝説にちなみドアが開くと白い煙が噴出する「指宿のたまて箱」、車内にアルコール飲料を提供する



指宿のたまて箱

◎鹿児島県鹿児島市 「観光農業公園整備事業について」

鹿児島県鹿児島市では、観光の振興に資するため、都市と農村の交流拠点として平成24年11月15日に「鹿児島市観光農業公園グリーンファーム」をオープン

当市では、遊休農地解消および雇用の確保、交流人口増等に有効と思われる。

「鹿児島環境未来館について」

環境学習や環境情報の発信、また、環境保全活動の輪を広げていくための拠点施設として、約43億をかけ、平成20年10月に設置された施設である。環境学習講座、リサイクル講座の他、「環境の匠」を育てるための環境カレッジの開催や未使用の日用品を持ち込みポイントに替え、好きな品物と交換できるリユース・リサイクルショップや展示学習ゾーン等が設置されている。中でも施設屋上緑化や40キロワットの太陽光発電パネル等、自然エネルギー、環境配慮型の設計が行われているため、今後の当市が新に公共施設を整備する際の参考事例となった。

でも差し支えがないだろうと実感したところである。

そして翌日は、山口県岩国市役所で集落支援事業について懇



実物の巨大潜水艦を展示している
海上自衛隊呉資料館「てつのくじら館」（外観のみ視察）

談した。岩国市では当市と同様に、多くの中山間地域で集落の人口減少・高齢化が進んでおり、小規模高齢化集落に3名の集落支援員を配置している。集落支援員は岩国市の嘱託職員で、中山間地域の将来に向けた取り組みを地域住民が主体となつて進めていくことができるような体制づくりの支援等を行っている。その中でも、単一の集落では集落の活動の維持が難しい中、複数の集落が集まって新しいコミュニティを作るといった取

編集後記

6月定例会では25年度補正予算案、24年度専決処分による減額補正予算案等、主に予算関連の議案が審議され、すべて全員一致で可決または承認されました。

また、今年度事業については、本町アーケード整備事業の概要、市民説明会での要望による（仮称）飯山びらぎ建設の一部計画変更、静間線建設に伴う金山の団地造成と新市営住宅の建設計画、教育委員会の小学校区教育懇談会開催、飯山市第5次総合計画の前期基本計画（H25～H29）等について説明がありました。

25年度も数ヶ月が経過しましたが、今後も適正な予算執行に努めていただきたいと思います。

暑い夏もあと少しです。体調管理に気を付けて乗り切りましょう。

（水野 晴光）

議会だより編集委員会

委員長 望月 弘幸
副委員長 高山 恒夫
委員 水野 晴光
西條 豊致
水野 英夫
小林喜美治
久保田幸治